

平成28年使用  
交通安全年間スローガン

◆ 運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

- 🏆 内閣総理大臣賞      こんばんは 早めのライトで ごあいさつ
- 🏆 内閣府特命担当大臣賞      その酒で 失う信頼 家族の未来
- 🏆 警察庁長官賞      もしもは しません出ません 運転中

◆ 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

- 🏆 内閣総理大臣賞      シニアこそ ジュニアのお手本 交通安全
- 🏆 内閣府特命担当大臣賞      スマホ見ず しっかり前見て 踏むペダル
- 🏆 警察庁長官賞      伝えよう 自分の存在 反射材

◆ こども(中学生以下)へ交通安全を呼びかけるもの

- 🏆 内閣総理大臣賞      しんごうが あおでもよくみる みぎひだり
- 🏆 内閣府特命担当大臣賞      気を付けよう 知らない道より 慣れた道
- 🏆 警察庁長官賞      わたろうか いそぐ気持ちに ブレーキを
- 🏆 文部科学大臣賞      ぼくは ここ ピカッと知らせる はんしゃざい

第11回  
関東管区内交通安全教育  
コンクールを開催

第11回関東管区内交通安全教育コンクールが平成27年11月26日、千葉市文化センターで開かれました。

このコンクールは、各県警の交通安全教育担当者の技術向上が目的で、関東管区内10県警の代表者が各県の交通事故情勢を考慮した事故防止対策をテーマに、交通安全教室を競技方式で実施しました。審査の結果、最優秀賞には、栃木県警チームが選ばれました。千葉県警チームは、自転車の安全な乗り方をテーマにした寸劇が好評を博し、優秀賞を受賞しました。今後の安全教室に生かすため、県内から多くの交通指導員が見学を訪れ、「飽

きさせない演技構成が大変勉強になった」との声が寄せられました。



▲優秀賞の千葉県警チーム



臨時理事会を開催

公益目的事業等の変更認定申請など審議

公益財団法人千葉県交通安全協会は、平成27年11月20日、千葉市内ポートプラザちばで臨時理事会を開催しました。会議の議題は、「公益目的事業等の変更認定申請について」で慎重な審議の結果、承認されました。この申請は、公益事業をより一層推進するため、現在の公益目的事業を集約するなど現状に即した事業内容とするものです。

理事会の承認を受けて千葉県に対し変更認定申請を行い、12月28日認定を受けました。



臨時理事会の開催状況

賛助会員入会のお願い

公益財団法人千葉県交通安全協会は「交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県」をつくるために各種の交通安全事業を行っています。当協会の活動にご賛同いただける個人又は団体に、賛助会員としての入会をお願いしています。詳しいことは右までお問い合わせください。

発行 公益財団法人千葉県交通安全協会

ホームページアドレス  
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番

千葉県警察本部交通部運転免許本部内

電話 043-271-8481

交通ルールを守って  
つながる笑顔



# 交通ちば



VOL. 452

平成 28 年 1 月 1 日



千葉県交通安全活動推進センター  
公益財団法人千葉県交通安全協会



## 「交通安全県ちば」の実現を目指して

公益財団法人千葉県交通安全協会

会 長 安藤 轟勇

明けましておめでとございます。

平成28年の輝かしい新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

皆様方には、平素より地域における交通安全活動に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協会は、県内の交通事故防止に寄与する公益財団法人として、県下44地区の交通安全協会と連携し、「みんなのでつくる交通安全県ちば」をスローガンに、多岐にわたる交通安全活動を展開して、県民一人ひとりの交通安全思想の普及高揚に努めてまいりました。

特に、昨年は、悪質な自転車運転者に対する自転車運転者講習の受講義務の改正道交法が施行されるなど、自転車の安全利用に対する社会的関心が高まる中、各種イベントや自転車安全教室を通じて、「自転車安全利用五則」の周知徹底に取り組んできたところでもあります。

しかしながら、交通事故によって未だに多くの尊い命が犠牲になっており、本県の交通事故による死者数は、依然として全国ワースト上位にあります。

その交通死亡事故の特徴を見ますと、半数以上を高齢者が占めており、また、夕方から夜間にかけての時間帯に多発している

ほか、シートベルトの非着用者が増加している状況にあります。

最近、様々な災害が発生しておりますが、交通事故は、私たちの日常生活を脅かす最大級の災禍と言っても決して過言ではありません。

このため、当協会といたしましては、人命尊重の理念に基づき、安全で安心できる「交通安全県ちば」の実現を目指して、県民一人ひとりが交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践するよう粘り強く広報啓発活動を推進してまいります。

さらに、本年は、第10次千葉県交通安全計画が策定され、その初年度に当たりますので、県、警察をはじめとする関係機関のご指導を仰ぎながら、地区協会と連携して、新たな目標の達成に向け社会的使命を果たしてまいり所存であります。

併せて、安全協会の活動にご協力をいただいている個人会員及び賛助会員の皆様のお力添えによりまして、交通安全運動を県民総参加運動として一層力強く推進してまいります。ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、新年の挨拶といたします。



## 「安全・安心日本」の千葉県を目指して

千葉県知事 森田 健作

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろから交通事故防止に向け、地域に密着した各種の交通安全活動に御尽力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、千葉県の交通安全施策の大綱となる「第9次千葉県交通安全計画」では、人命尊重の理念のもとに、総合的かつ長期的な交通安全施策を実施し、交通事故のない、安全で安心して、いきいきと暮らせる「交通安全県ちば」の実現を目指すことを基本理念としております。

平成27年度はその5年計画の最終年度に当たり、交通事故の発生件数・負傷者数は年々減少傾向を示しており、交通事故総量抑止という点では着実に成果を上げています。これも皆様方をはじめとする関係各位の御尽力の賜物であり、あらためて感謝申し上げます。

一方で、千葉県では毎年多くの方が交通事故によってその尊い命を奪われており、高齢者が事故当事者となる割合の増加や、自転車運転者が加害者となる死亡事故の発生などは社会的にも問題となっております。

また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、本県でも7競技が行われる予定となっており、「安全・安心の確保」を最重要課題として、官民一体の「オール千葉」による受け入れ態勢の整備を進める必要があります。

「安全・安心の確保」にあたっては、「交通安全」が極めて重要であり、高齢者の交通事故防止対策、自転車安全利用に関する広報・啓発活動及び幼児から高齢者に至るまでの各段階に応じた実践的な交通安全教育など、各交通安全事業を積極的に推進してまいります。なお、「第10次千葉県交通安全計画」では、計画期間の最終年度がこの開催年に当たたることを踏まえ、現在、策定作業を進めています。

交通事故を根絶するためには、日々、交通安全活動に御尽力いただいている関係機関・団体の皆様のお力添えが不可欠です。皆様には、悲惨な交通事故をなくすという強い信念のもと、幼児、児童、生徒等に対する交通安全教育や交通安全に関する広報・啓発活動、街頭指導活動など、地域に密着した交通安全活動を展開し、県民の方々の「安全・安心日本」の実現に向けて、なお一層の御尽力をいただきますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会がますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げます。新年のあいさついたします。



## 「安全・安心で思いやりのある交通社会」の実現に向けて

千葉県警察本部長 黒木 慶英

明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様方におかれましては、

御家族とともに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、平素より警察業務各般にわたり深い御理解と御協力を賜りま

# 平成 27 年中の 千葉県交通事故死者数 180人

## ※交通死亡事故の特徴

- 高齢者の死者が 98 人 (54.4%)
  - 歩行中死者が 78 人 (43.3%)
  - 前方不注意による事故が 66 件 (37.3%)
  - 夜間事故が 104 件 (58.8%)
- (※数値は速報値ですので、修正されることがあります)

発生状況	区 分	累 計	前年比
	発 生 件 数	18,662 件	- 1,043 件
	死亡事故件数	177 件	+ 2 件
	死 者 数	180 人	- 2 人
	負 傷 者 数	23,257 人	- 1,268 人

(人)

死者の 状態別	区 分		累 計	前年比
	歩行者	その他		
歩行者	子 供		1	- 3
	高 齢 者		55	+ 1
	そ の 他		22	- 7
自 転 車	子 供		0	± 0
	高 齢 者		22	+ 9
	そ の 他		6	- 2
一 輪 車	若 者		4	- 1
	高 齢 者		2	- 8
	そ の 他		19	+ 2
四 輪 者	若 者		7	+ 1
	高 齢 者		19	+ 1
	そ の 他		23	+ 5
そ の 他			0	± 0

(人)

死者の多い都道府県	順位	区 分	累 計	前年比
	1	愛 知	213	+ 9
2	大 阪	196	+ 53	
3	千 葉	180	- 2	
4	神奈川	178	- 7	
5	北海道	177	+ 8	
5	埼 玉	177	+ 4	
7	兵 庫	171	- 11	
8	東 京	161	- 11	
9	静 岡	153	+ 10	
10	福 岡	152	+ 5	

※全国の死者 4,117 人 (前年比+4 人)

すとともに、交通安全意識の普及高揚に向けて、地域に密着した交通安全活動に御尽力されておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成27年中の交通事故情勢を振り返りますと、残念ながら交通事故により多くの尊い命が失われました。特徴としましては、事故死者数に占める高齢者の割合が依然として高く全体の5割を超えていることに加え、大幅に増加した自転車乗車中の事故の約8割が高齢者でありました。また、働き盛りの中・高年齢者による四輪車乗車中の事故も一昨年に比べ大幅に増加しており、そのうち4割以上の方がシートベルト未着装という状況でした。

これらの事故の原因は、車両運転者の脇見や遠方を望見していたことによる前方不注意、考え事による漫然運転などが大半ですが、信号無視や速度超過更には飲酒運転など、法令違反を伴う悪質・危険な運転行為による事故も増加しております。特に、飲酒運転による交通死亡事故は全国ワースト上位を占めている由々しき状況であります。

警察といたしましては、こうした県下の交通事故情勢を踏まえ、重大事故に直結する飲酒運転を始めとした悪質・危険な違反者に対する指導取締りの

強化を図るほか、自転車に関わる交通事故の増加に歯止めをかけるため、事故防止への理解と、交通ルールの遵守、交通マナーを実践していただくための広報啓発活動や街頭指導等をより一層推進してまいります。また、交通事故の被害者となりやすい子供や高齢者に対する事故防止対策につきましては、事故に遭わないために自らが考え、危険を予知する「気づき」が浸透し、安全に通行することができるよう、関係機関・団体等の協力をいただきながら、街頭での保護・誘導活動や年齢層に応じた各種交通安全教育等を積極的に推進してまいります。

皆様方におかれましても、現下の交通情勢を御理解のうえ、「安全・安心で思いやりのある交通社会」の実現に向けて、地域における交通安全活動の中心的存在として引き続き御尽力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝を心から祈念申し上げます、年頭の挨拶といたします。